

第51回

日本胆道閉鎖症研究会

プログラム・演題抄録集

会 期：令和6年11月30日（土）

会 場：大阪大学医学部 銀杏会館

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2

TEL：06-6879-3753 FAX：06-6879-3759

第51回日本胆道閉鎖症研究会

会 長 奥山 宏臣

（大阪大学大学院医学系研究科 小児成育外科 教授）

第51回

日本胆道閉鎖症研究会

プログラム・抄録集

◇日本胆道閉鎖症研究会◇

会 期：令和6年11月30日（土）

会 場：大阪大学医学部 銀杏会館

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2

TEL：06-6879-3753 FAX：06-6879-3759

第51回日本胆道閉鎖症研究会プログラム・抄録集

目 次

目次	1
会長挨拶	2
開催概要	3
会場アクセス	4
参加者へのお知らせ	6
日程表	8
プログラム	9
特別講演	17
ランチオンセミナー	22
ガイドラインセッション	25
一般演題	33
会員名簿	92
歴代会長	96
会則	100

第 51 回日本胆道閉鎖症研究会 会長挨拶

テーマ：「胆道閉鎖症と移行期医療」

この度は歴史と伝統ある日本胆道閉鎖症研究会の第 51 回会長を務めさせていただきますありがとうございます。胆道閉鎖症は小児外科の中でもとりわけ重要な疾患で、診療や研究の領域で、我が国が果たしてきた役割はとても大きなものがあります。大阪大学関連では、第 3 回（岡本英三会長 1976 年）、第 23 回（岡田 正会長、1996 年）、第 39 回（福澤正洋会長、2012 年）以来、12 年ぶりの 4 回目となります。



昨年の節目となる第 50 回研究会（山高篤行会長）では主題として「これからの 50 年に向けて」が取り上げられました。これを受けて、今回のテーマは「胆道閉鎖症と移行期医療」としました。

近年、長期生存例が増えるにつれて、成人期以降にも多くの問題が生じることが明らかになってきました。改めて胆道閉鎖症という疾患の難しさを感じています。そこで、成人期以降において、どのような体制で、どのような点に注意してフォローし、どのようなタイミングで治療していけば良いかについて演題を募集致します。またこれに限らず、広く基礎・臨床研究のご応募も歓迎いたします。これからの 50 年に向けて、皆様とともに良いスタートを切りたいと思います。

研究会は 2024 年 11 月 30 日、大阪大学吹田キャンパスの銀杏会館で開催いたします。

秋の深まった大阪に多くの皆様をお迎えし、親交を暖め、意見交換できる実りある研究会にしたいと思います。ご協力・ご支援のほどどうぞよろしくお願い致します。

第 51 回日本胆道閉鎖症研究会 会長

大阪大学大学院医学系研究科 小児成育外科学 教授

奥 山 宏 臣

開催概要

【幹事会】

11月29日（金）17:00 開始

会場：大阪大学医学部学友会館（銀杏会館）

【懇親会】

11月29日（金）18:00 開始

会場：大阪大学医学部学友会館（銀杏会館）

【第51回日本胆道閉鎖症研究会】

11月30日（土）8:30-17:30 （8:00開場）

会場：大阪大学医学部学友会館（銀杏会館）

【施設代表者会議】

11月30日（土）12:40-13:00

会場：大阪大学医学部学友会館（銀杏会館）

会場へのアクセス

大阪大学医学部 银杏会館

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2

TEL : 06-6879-3753 FAX : 06-6879-3759

■ アクセス方法

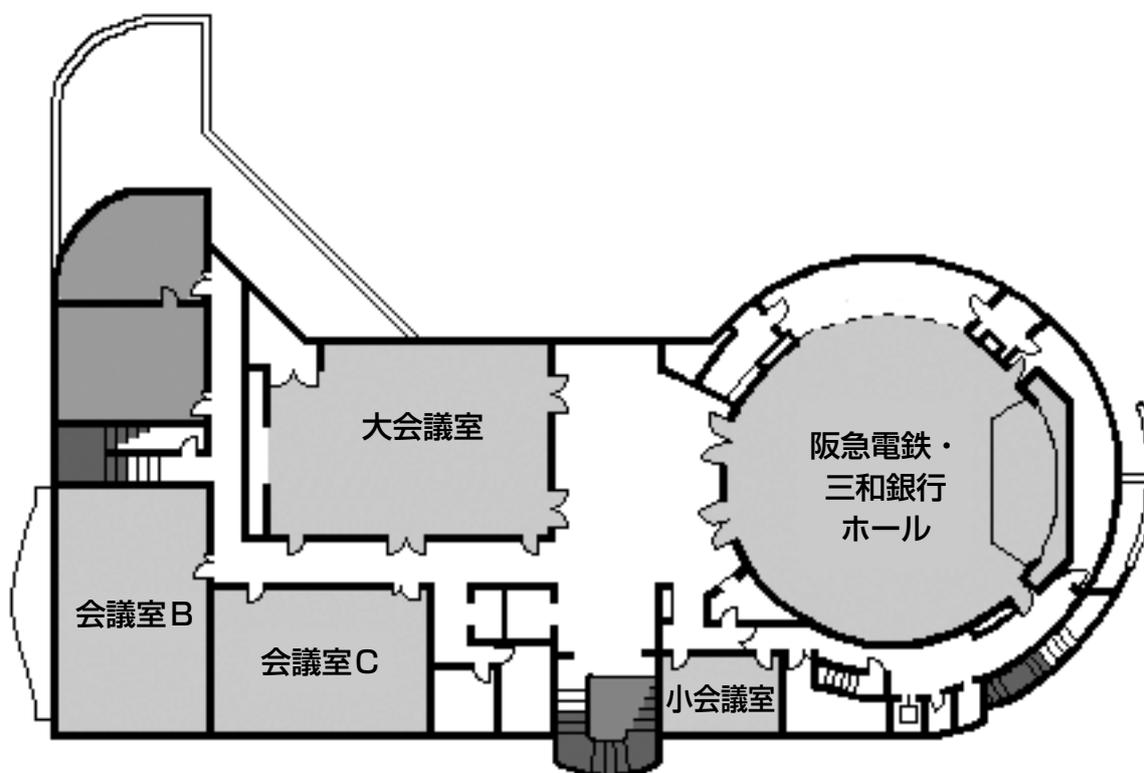


■ キャンパスマップ

大阪大学 银杏会館
(研究会会場)



■ 銀杏会館 3階 フロアマップ



■ 電車をご利用の場合 ■

■ JR茨木駅から

- ・茨木駅から近鉄バスで「阪大病院・阪大本部前」行きに乗車。終点「阪大本部前」下車

■ 阪急千里線

- ・北千里駅（終点）下車 東へ徒歩
- ・医学部（医学科）徒歩約30分／医学部（保健学科）徒歩約25分

■ モノレールをご利用の場合 ■

■ 大阪モノレール

- ・万博記念公園駅で彩都線（国際文化 都市モノレール線）に乗り換え、阪大病院前下車 徒歩約5～15分

参加者へのお知らせ

本研究会は、現地参加のみの開催となります。
原則事前参加登録制とさせていただきます。

事前参加登録について

登録方法並びに参加費

第 51 回日本胆道閉鎖症研究会のホームページ (<http://www.pedsurg.med.osaka-u.ac.jp/ba2024-osaka/>) より、事前参加登録の上、クレジット決済を行ってください。参加費は 6,000 円になります。

事前登録とクレジット決済は別々のサイトになりますのでご注意ください。

事前参加登録をいただいた方へ、参加証・領収書を受付にてお渡します。

申し込み期限

2024 年 11 月 29 日 (金) 正午までとなります。

研究会受付での参加、登録、決済はございません。

※当日、受付での参加登録は行えません。必ずオンライン参加登録を完了のうえ、ご来場ください。

※決済完了後の返金はいたしませんので、ご了承ください。

懇親会について

登録方法並びに懇親会費

懇親会は全員参加可となります。第 51 回日本胆道閉鎖症研究会のホームページ (<http://www.pedsurg.med.osaka-u.ac.jp/ba2024-osaka/>) より、事前参加登録の際に懇親会の参加希望にチェックをしてください。クレジット決済の際に参加費と合わせて懇親会を決済してください。懇親会費は 1 名 3,000 円になります。領収書を受付にてお渡します。

申し込み期限

2024 年 11 月 22 日 (金) 正午までとなります。

懇親会場での決済はございません。

※当日、受付での参加登録は行えません。必ずオンライン参加登録を完了のうえ、ご来場ください。

※決済完了後の返金はいたしませんので、ご了承ください。

座長・演者の皆様へ

【座長・演者の皆様へ】

- ・一般演題は 発表 5 分、質疑 1 分 合計 6 分です。
- ・ガイドラインセッションは 発表 6 分 質疑 2 分 合計 8 分です。
- ・特別講演等は、事前に連絡している発表時間になります。
- ・担当セッションの開始 15 分前までに、次座長席へ御着席ください。
- ・進行は時間厳守でお願いします。

発表方法

- ・発表データは事前に提出をお願いいたします。
- ・ご提出方法については、個別にメールでお知らせいたします。
- ・発表は PowerPoint による現地での講演発表を原則としますが、音声付きの PowerPoint ファイルを用いた発表も可能です。
- ・フォントの文字化けやレイアウトのずれを防ぐため Windows 標準フォントをご使用ください
- ・発表スライドの最初または演者・発表者などを紹介するスライドの次に COI 状態を開示ください。
- ・当日は患者会関係者も参加可としております。スライド作成に際してはご配慮をお願いいたします。
- ・発表スライドファイルにつきましては研究会後事務局にて破棄いたします。

《お問い合わせ先》

第 51 回日本胆道閉鎖症研究会

運営事務局 担当：上野 豪久

〒 565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2 大阪大学大学院医学系研究科 小児成育外科

TEL:06-6879-3753 FAX: 06-6879-3759 E-mail: jbas2024@ped surg.med.osaka-u.ac.jp

ホームページ： <http://www.pedsurg.med.osaka-u.ac.jp/jbas2024/>

第51回日本胆道閉鎖症研究会 日程表

8:35～9:10	一般演題 基礎・病理	座長：虫明聡太郎 近畿大学奈良病院 小児科
9:10～9:40	一般演題 その他	座長：佐々木隆士 奈良県総合医療センター小児外科
9:40～10:20	一般演題 興味深い症例	座長：岡島英明 金沢医科大学 小児外科
10:20～10:30	休憩	
10:30～11:10	一般演題 合併症	座長：小野滋 京都府立医科大学 小児外科
11:10～11:50	特別講演	座長：奥山宏臣 大阪大学 小児成育外科 演者：石井 優 大阪大学大学院医学系研究科 免疫細胞生物学
11:50～12:00	休憩	
12:00～12:40	ランチオン	座長：田尻達郎 九州大学 小児外科 演者：位田 忍 大阪母子医療センター臨床検査科主任部長／ 大阪府移行期医療支援センター長 共催：ミヤリサン製薬株式会社
12:40～13:00	施設代表者会議	
13:00～13:20	公募論文報告	
13:20～13:40	事務局報告	
13:40～14:30	ガイドラインセッション	座長：仁尾正記 国家公務員共済組合連合会東北公済病院
14:30～15:10	一般演題 移行期 I	座長：恵谷ゆり 大阪母子医療センター 消化器・内分泌科
15:10～15:25	休憩	
15:25～16:05	一般演題 移行期 II	座長：虻川大樹 宮城県立こども病院 総合診療科・消化器科
16:05～16:35	一般演題 長期予後	座長：加治建 久留米大学医学部外科学講座 小児外科部門
16:35～17:10	一般演題 移植	座長：上野豪久 大阪大学 小児成育外科
17:10～17:20	遼太郎ちゃん基金発表	
17:20～17:25	次期会長挨拶	
17:25～17:30	閉会のあいさつ	

プログラム

開会の辞 (8:30~8:35)

会長 奥山宏臣

一般演題 基礎・病理 (8:35~9:10)

座長：虫明聡太郎 近畿大学奈良病院 小児科

1. 閉塞性黄疸マウスに対するミトコンドリア機能向上薬の肝障害抑制効果
順天堂大学医学部 小児外科・小児泌尿生殖器外科 後藤宏希
2. 可視光で観察可能な胆道造影法と胆汁成分分析によるSOX17 +/- 胆道閉鎖症モデルマウスの解析
東京大学医学部附属病院小児外科 追木宏宣
3. 胆道閉鎖症胆嚢におけるCEACAM5発現の不均一性
日本赤十字社医療センター 小児外科 高見尚平
4. 胆道閉鎖症肝組織における臨床病理学的検討ー病理組織判定基準を用いた予後予測の検討
公立八女総合病院 病理診断科 谷川 健
5. Clinical and Etiological Analysis of Four Phenotypic Forms of Biliary Atresia in Children
Department of pediatric surgery, Republican specialized scientific practical medical center of pediatrics, Tashkent, Uzbekistan Yuldashev R.Z.

一般演題 その他 (9:10~9:40)

座長：佐々木隆士 奈良県総合医療センター小児外科

6. 胆道閉鎖症における肝左外側区域容積比の診断的価値
大阪市立総合医療センター 小児外科 三藤賢志
7. レセプトデータからみた胆道閉鎖症診療の実態
順天堂大学 小児科 鈴木光幸
8. 児童相談所と協議しながら加療している胆道閉鎖症の1例
金沢医科大学 小児外科 廣谷太一
9. Covid-19陽性胆道閉鎖症に対し葛西手術を施行した1例
獨協医科大学病院 とちぎ子ども医療センター小児外科 荻野 恵
10. 胆道閉鎖症との鑑別が困難であった肝門部嚢胞性疾患の1例
福岡市立こども病院 小児外科 林田 真

一般演題 興味深い症例 (9:40~10:20)

座長：岡島英明 金沢医科大学 小児外科

11. Food protein-induced enterocolitis syndromeの治療中に直接ビリルビン値が上昇し胆道閉鎖症との鑑別に難渋した1例
大阪母子医療センター 消化器・内分泌科 佐浦龍太郎
12. 極および超低出生体重児に発症した胆道閉鎖症2例の検討
和歌山県立医科大学 第2外科 三谷泰之
13. 腹腔鏡補助下Kasai術後早期に繰り返した胆管炎に対し腹腔鏡下癒着剥離術が著効した1例
兵庫県立こども病院 小児外科 植村光太郎

14. 術後早期に出血をきたした葛西手術の一例

NHO福山医療センター 小児外科 塚田 遼

15. 腸炎に広範な門脈血栓を合併した胆道閉鎖症の1例

九州大学大学院医学研究院小児外科学分野 内田康幸

16. 胆道閉鎖症術後の挙上空腸静脈瘤出血に対し開腹補助下内視鏡的硬化療法による止血を行った一成人例

福島県立医科大学附属病院 小児外科 三森浩太郎

休憩 (10:20~10:30)

一般演題 合併症 (10:30~11:10)

座長：小野 滋 京都府立医科大学 小児外科

17. 当院における1歳未満の胆道閉鎖症に対する内視鏡的食道胃静脈瘤治療経験

名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学 横山晋也

18. 胆道閉鎖症におけるハイリスク静脈瘤予測のための門脈血流速度の有用性の検討

大阪大学大学院医学系研究科小児科学 福岡智哉

19. 胆道閉鎖症合併症に対する長期的な治療戦略の検討

慶應義塾大学 医学部 小児外科 城崎浩司

20. 術後胆管炎血液培養陽性例と血清プロカルシトニン値の相関

藤田医科大学 小児外科 安井稔博

21. 胆道閉鎖症術後bilomaへの治療介入に関する検討

京都府立医科大学小児外科 嶋村 藍

22. 胆道閉鎖症に対する茵陳蒿湯投与による腸間膜静脈硬化症の多施設調査

久留米大学医学部外科学講座小児外科部門 橋詰直樹

特別講演 (11:10~11:50)

座長：奥山宏臣 大阪大学 小児成育外科

生体イメージングによる免疫炎症動態の解明～肝臓微小環境の制御を中心に

大阪大学大学院医学系研究科 免疫細胞生物学 石井 優

休憩 (11:50~12:00)

ランチオン (12:00~12:40)

座長：田尻達郎 九州大学 小児外科

移行期医療と成人移行支援

共催：ミヤリサン製薬株式会社

大阪母子医療センター臨床検査科主任部長／大阪府移行期医療支援センター長 位田 忍

施設代表者会議 (12:40~13:00)

公募論文報告 (13:00~13:20)

事務局報告 (13:20~13:40)

- G1. 胆道閉鎖症診療ガイドライン第2版の改訂要点 (病態)
東北大学大学院医学系研究科小児外科学分野 大久保龍二
- G2. 胆道閉鎖症診療ガイドライン第2版の改訂要点 (疫学)
宮城県立こども病院 外科 佐々木英之
- G3. 胆道閉鎖症診療ガイドライン第2版の改訂要点 (診断)
宮城県立こども病院 総合診療科・消化器科 虻川大樹
- G4. 胆道閉鎖症診療ガイドライン第2版の改訂要点 (治療)
名古屋大学大学院 小児外科学 内田広夫
- G5. 胆道閉鎖症診療ガイドライン第2版の改訂要点 (合併症)
神奈川県立こども医療センター 黒田達夫
- G6. 胆道閉鎖症診療ガイドライン第2版の改訂要点 (予後)
名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院 鈴木達也

一般演題 移行期 I (14:30~15:10) 座長: 恵谷ゆり 大阪母子医療センター 消化器・内分泌科

23. 自己肝生存で4回の出産前後に興味深い血液検査所見を呈した胆道閉鎖症の一例
鹿児島大学小児外科学分野 鶴野雄大
24. 当院における胆道閉鎖症術後妊娠症例の検討
北里大学医学部 小児外科 小西健一郎
25. 胆道閉鎖症葛西術後の自己肝にて3児の妊娠出産を経験した一症例
京都大学医学部附属病院 小児外科 小川絵里
26. 超音波内視鏡下肝内胆管胃瘻(EUS-HGS)を用いて肝内結石を治療した成人胆道閉鎖症の1例
順天堂大学肝胆膵外科 平田義弘
27. 胆道閉鎖症の成人2例の現在
聖マリアンナ医科大学病院 小児外科 工藤公介
28. Quality of life(QOL)から見た、成人期胆道閉鎖症患者の治療の現状および問題点
大阪大学小児成育外科 松本紗矢香

休憩 (15:10~15:25)

一般演題 移行期 II (15:25~16:05) 座長: 虻川大樹 宮城県立こども病院 総合診療科・消化器科

29. 小児病院における胆道閉鎖症の移行期医療の現状
神奈川県立こども医療センター 外科 北河徳彦
30. 長期フォローアップ中の胆道閉鎖症患者における医療費助成取得と移行期医療の現状
大阪母子医療センター 小児外科 野口侑記

31. 成人期に達した胆道閉鎖症患者の消化器内科への移行に関する取り組み

千葉大学医学部附属病院小児外科 川口雄之亮

32. 胆道閉鎖症患者の成人移行へ向けた取り組みの実際

千葉県こども病院 小児外科 文田貴志

33. 胆道閉鎖症患者における移行期医療の実態

大阪母子医療センター 消化器・内分泌科 恵谷ゆり

34. 当院における胆道閉鎖症患者の成人診療科への移行について

自治医科大学 とちぎ子ども医療センター 小児外科 辻 由貴

一般演題 長期予後 (16:05~16:35) 座長：加治建 久留米大学医学部外科学講座 小児外科部門

35. 胆道閉鎖症術後の肝内胆管拡張に対するMRIによる評価とその臨床的意義について

久留米大学医学部 外科学講座小児外科部門 東舘成希

36. 30歳以上の胆道閉鎖症患者の現況

愛知県医療療育総合センター中央病院 小児外科 横田一樹

37. 胆道閉鎖症術後黄疸消失例における予後予測因子の検討 ~肝機能検査値と肝胆道シンチグラフィーを用いて

東北大学病院 総合外科(小児外科) 橋本昌俊

38. 成人期を迎えた自己肝生存胆道閉鎖症患者の肝線維化と合併症の関連

大阪大学 小児成育外科 高瀬洪生

一般演題 移植 (16:35~17:10)

座長：上野豪久 大阪大学 小児成育外科

39. 胆道閉鎖症に対する脳死肝移植の現状と今後の展望

自治医科大学 消化器一般移植外科 眞田幸弘

40. 胆道閉鎖症に対する一次脳死肝移植術の1例

京都大学 肝胆膵・移植外科/小児外科 山本美紀

41. 長期経過中に肝肺症候群を合併し葛西手術後15年目に脳死肝移植を実施した1例

長崎大学 移植・消化器外科 藤田拓郎

42. 非移植実施施設から移植実施施設へ紹介時期について

兵庫医科大学病院 小児外科 堺 貴彬

43. 胆道閉鎖症に対する成人期生体肝移植の検討

国立成育医療研究センター 臓器移植センター 柳 佑典

遼太郎ちゃん基金発表 (17:10~17:20)

次期会長挨拶 (17:20~17:25)

閉会のあいさつ (17:25~17:30)

会長 奥山宏臣
